

もも組だより <11月号>



平成30年11月20日 こり保育園 担当:海老澤

赤や黄色のカラフルな葉っぱが季節の移り変わりを教えてくれています。

先日は、保育参観にご参加いただきありがとうございました。

保育参観で使用したどんぐりは、分園近くの公園で子ども達と一緒に集めました。どんぐりの木の下には、葉っぱもたくさん落ちていて、その中から「お気に入りの1粒」を見つけたすと、宝物を見つけたかのように、ぎゅっと握りしめていました。「どんぐりさんの帽子もあるよ」と見せると、「なんだろう?」という表情で覗き込んでいました。「そろそろ帰ろうか」と声を掛けるまで、無我夢中でどんぐり拾いを楽しむ子ども達でした。そして、保育参観では、自分たちで拾ったどんぐり、保育者が集めてきたくぬぎ、くり、まつぼっくりを興味津々の様子で見せ、選んでいましたね。おみやげに持ち帰った木の実にぜひご家庭でも「秋を感じていただけたらと思います。



さて、生活面では、身のまわりのことを「自分でやろう」という意識が芽生えてきました。排泄時、以前は、「スポンを履かせてほしい」と訴えていた子どもスポンに足を通そうとして、自分で靴を履こうとしていたりする姿が見られます。給食でも、積極的に食べる子が増えてきました。夢中で食べているので、スプーンを持つ手が左手になつたり、手つかみになつたりして食べることもあるので、「右手で持つよ」「下から持つよ」と声を掛けています。子ども達のやる気を大切に、見守りつつ、ことば掛けをしていきたいと思っています。

